

電子たばこの収集方法の変更について

1 現状と課題

- ① 充電式電池(リチウムイオン電池)は発火の恐れがあるため、令和元年10月から危険ごみとして収集し、JBRC(電池工業会)に無料で引渡してリサイクルしている。
- ② 充電式電池を取り外せない電子たばこは、メーカー側が支店(道内は札幌市)で自主回収を行っているが、当市に回収拠点はなく、現在は不燃ごみ(有料)として収集している。
- ③ 電子たばこの収集・処理時の発火事故防止に向けた対応を進める。

2 10月1日からの収集方法

充電式電池と同じ袋に入れて危険ごみ(無料)として収集する。

3 近隣市の状況

自治体名	電子たばこ	充電式小型家電
札幌市	不燃収集時に別収集(無料)	不燃ごみ(有料)※電池は外す
千歳市	危険ごみ(無料)	専門業者(有料)
恵庭市	不燃(有料)	不燃ごみ(有料)※電池は外す
北広島市	危険ごみ(無料)	不燃ごみ(有料)※電池は外す
石狩市	拠点回収(無料)	不燃ごみ(有料)※電池は外す
岩見沢市	拠点回収(無料)	不燃ごみ(有料)※電池は外す

4 その他

- ① 電気式かみそりやコードレスクリーナーにも充電式電池が内蔵されているため、市では本体から充電式電池を外して不燃ごみで出すよう周知しているが、外すことが難しい場合は環境クリーンセンターで作業員が取り除いている。また、収集業者から充電式小型家電の収集時に充電式電池を取り除くため、指定ごみ袋に充電式電池が入っていることを記載してほしいと要望がある。
- ② 充電式電池を外すことが難しい場合は、不燃ごみ排出時に入っていることを指定ごみ袋に記載するよう周知する。

5 今後のスケジュール

9月 分別の手引き、ごみコミえべつに掲載

10月 運用開始